

フレフレ!子育て相談室⑦ ～叱る～

ほめて育てることの大切さはよく言われていますが、やはりほめるだけでは?と
思っている方も少なくないと思います。叱ることも親子のコミュニケーションを図る上では
大切です。そこで今回は上手に叱る方法についてお話したいと思います。

みっくんパパの子育て奮闘記
作 たしろ みつる



『なぜ叱る必要があるの?』

「なぜ、それをしたらいけないのか」「なぜ、それをしなければならないのか」を伝え、理解させるためです。ですから、親の感情をぶつけるのではなく、冷静に話さなければなりません。命に関わることなどで急を要する時などは例外ですが、大抵の場合は、冷静に話した方がいい訳です。

上手な叱り方の5つのポイント

- ① ほめるときと同様、子どもと同じ目線で、子どもの目を見て、愛情をもって叱る
- ② 理由をきちんと説明して叱る
- ③ 叱るタイミングも重要
- ④ 子ども自身の言葉で反省させる
- ⑤ 叱った後のフォローも重要

愛情をもって叱ることが一番大切!

上手に叱ることはなかなか難しいことです。でも、だからといって、叱ることを避けてほしくはありません。溺愛され我慢することを知らずに育った子どもは、自主性が育たないと言われています。また、本気で叱られないことに不満を感じる場合があります。愛されていないと感じるからです。子どもは無意識に、叱られたいという思いから、非行に走る場合もあります。一番大切なのは愛情をもって叱るということだと思います。